

(令和3年8月試験研究業務月報)

試験研究課題：普通作物及び野菜有害動植物発生予察調査

研究

## ネギアザミウマに対する殺虫剤の効果検定

葉ネギ栽培では、微少な害虫「ネギアザミウマ」による被害が問題となっています。成虫及び幼虫がネギの葉をかすり状に食害し、さらには白い病斑が現れる「ネギえそ条斑病」を媒介し、多発するとネギの外観を大きく損ないます。

本虫は殺虫剤が効きにくい傾向があり、生産現場では防除に苦慮しています。

そこで当所では、本虫に対する各種殺虫剤の効果検定を行っています。餌のインゲン豆の葉に殺虫剤液を漬けて乾かし、府内各地で採取した本虫の成虫とともに容器に入れ、死んだ虫の数により検定しています。

得られた検定結果は、殺虫剤の選定の参考情報として生産現場に伝え、効率的な防除が出来るように支援します。



ネギアザミウマ成虫  
(体長1~1.6mm)



虫の食害痕

えそ条斑病斑

アザミウマ被害と病斑



殺虫剤の効果検定処理  
(1~3日後に死んだ虫を数える)